速野の福祉

= 発 行 =
速野学区
社会福祉
協 議 会

ひと

美崎自治会
前田 勇さん（88歳）

健康維持に野菜作り

前田勇さんは八人兄弟の四番目として誕生されました。

戦争末期、昭和二十年の四月、十六歳で農作業従事のため満州へ渡り、戦争が終わってもすぐには帰れず、一年ほど中国で過ごされた経験がおありだそうです。

帰国後は色々な仕事に携わられ、自宅で刺繍の仕事をしたり、琵琶湖大橋の建設当時は木浜から橋脚となる石を船で運んだこともあったそうです。

十八年前に奥様を亡くされましたが、娘さんお二人がおなじ守山市内に住んでおられることから、たびたび訪ねて来られることやお孫さんが町内に嫁いで来られたことを喜んでおられます。

現在も家の近くの畑で野菜を作っておられ、これが健康を維持できる秘訣となっておられます。

つながる地域福祉にむけて

速野学区社会福祉協議会会長
今井　寿一

深緑の候、学区民の皆様方には、ご健勝でお過ごしの事とお慶び申し上げます。

平素は、学区の社会福祉協議会の運営にご支援、ご協力を賜り有難うございます。

私、二期目の社会福祉協議会の会長の重責をあずかりました。今日まで諸先輩が築いてこられた速野の福祉の良き宝を更に進展出来る様、微力ではございますが「共助」の精神で努めてまいりたいと思います。

今年度より、第三次速野学区地域福祉活動計画、「ぬくもりの『和』でつながる地域づくり」がスタートします。

この計画は、お互いにつながる共助の精神を考えて、安心、安全に暮らせる事が、実感出来る様に皆様方と共に創り上げてまいりたいと思います。

最後に、学区民の皆様方のご支援、ご指導をお願い申し上げます。

小学生福祉作文

みんなが幸せで平和な国へ

六年　炭谷　康太

戦争で使用された原子爆弾や核兵器、水素爆弾の発明には、いろいろな人が携わってきている。どの人もそれぞれ自分の知恵をふりしぼって組み合わせて完成にいたったのだろう。

だが今になっては、高れい者の介護やしせつ、ユニバーサルデザイン、バリアフリーなどの体の不自由な人について考えることが多くなっている。戦争をしていた国。日本、アメリカ合衆国、イギリス、ドイツ、ロシア。そんな核兵器を造って人を殺すために知恵をふりしぼるのではなく、困っている人を助けよう。戦争なんかしていたら国の中がぼろぼろになって、戦争どころじゃなくなる。そんな事に知恵をふりしぼるのではなく、良い方向へ使おうよ。

このようなことを言うにも理由がある。新聞で読んだが、今になっては、大学入試の問題を解けるようなロボットや、介護を手伝うロボットまで作られた。バリアフリー、ユニバーサルデザインを考える人も増え、いろいろな工夫がされている。

暮らしが便利になりノーベル賞を受賞する日本人もいる。それでも世界のどこかで、今でも戦争をしている。困っている人がいるのに、まだ誤ちに気付いていない国や人がいる。

僕は戦争をする意味を考えた。答えは即決。意味は無い。貿易の相手国も困るし、不景気にもなる。普段困まっている人はもっと困る。戦争の意味は無いのだ。だから国全体で福祉のことについて考え、不自由な人を、どんどん助けていこうよ。

これまで自分の考えたことを書いたが、自分は田舎に住む一人の小学六年生だ。僕一人には世界中の戦争を止める力や、核兵器を無くせる程の権力も無い。

「戦争を無くす」が出来なくても、「ユニバーサルデザインやバリアフリーを進める」ことは出来る。ユニバーサルデザインやバリアフリーについて考えたり、高れい者の手伝えることを考えたりすることはできる。もう一つ自分に出来ること。それは、将来参加する選挙だ。十八歳になった自分の一票によって「戦争」をするようになるか、「高れい者について考える」幸せな国になるかが決まる。　その一票を良い国づくりに生かすために、今から、良いと思うことはやり通し、悪いと思ったら注意する。この習慣をつけることによって、直接的にではないが政治が良い方向に向かうと思う。

このようなことをふまえて、僕は、核兵器をこの世から無くし、ユニバーサルデザインやバリアフリーなどを考える人がいっぱいいるみんなが幸せに暮らせる日本にしたい。

私たち 福祉協力員連絡会 34名です！

新道推進員

西村やよい（地域）

西村弘子（ボラ）　小山（啓発）　市田（広報）

水 保

北川代表（総務）　松岡（啓発）　西村（広報）

中野小林

堀尾はる江（地域）　高谷（啓発）

堀尾好子（ボラ）　和田（広報）

開 発

大橋（ボラ）　今井みさ子（啓発）

山田（地域）　今井順子（広報）

今 浜

馬渕（啓発）　猪飼（広報）　古城（ボラ）

今井（広報）　堂本副（地域）

中 野

芝原（地域）　南（ボラ）

馬場（広報）　村田（啓発）

木 浜

西村（ボラ）　村田（広報）　片山（地域）

美 崎

安藤（ボラ）　大谷（啓発）

ｵｵ･ﾍﾞﾗｳﾞｨｰﾀ守山

山本美和子（啓発）　山本ますみ（広報）

大 曲

中井副（ボラ）　松井（広報副）

北川 NT

友愛訪問やサロンでお目にかかります。2 年間どうぞよろしくお願い致しま

速野の福祉71号 校正風景

H29.6.2(金)19：00～
速野会館小会議室にて

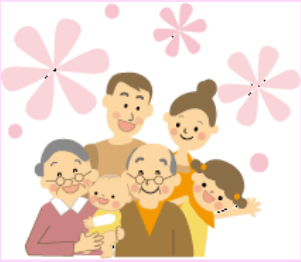
広報部員十五名
全員参加で校正作業を
行っています。
みんなでアイディアを
出し合ってレイアウトや
カラーを決めていきます。
誤字・脱字はないかな？
仕上がりが楽しみです♪

地域で見かけたホットな光景

速野小学校 6 年生 5 クラスを対象に、5/29（月）**『認知症を学ぼう！認知症サポーター養成講座』**が開催されました。

認知症を理解し、認知症の方やそのご家族に対して温かい目で見守っていくことを学びました。

認知症を学ぼう！認知症サポーター養成講座



速野情報箱

4/10（月）

木浜稲荷神社にて、満開の桜の下、お花見弁当をいただきました。

その後、公民館で手品を見たり、三味線に合わせて歌ったりして楽しみました。

木浜　はまカフェのお花見

ボランティアさんの作ったダンボールのおうちに絵を描いたり、中に入って遊んだりしました。

電気も点きます。

5/20（土）

木浜　子育てサロン